

## 催しの企画とは?

NPO法人日本パークレンジャー協会

## 1. どうして企画が必要か?

私たちの活動目的：

「(学んだことをもとに)色々な自然にかかわる  
活動を通じて人に**「自然の大切さを伝える」**」

企画とは:

伝えたい**「思い」**を具体的な**「かたち」**にする

**「かたち」** = 自然の催し

自然を楽しむ → 自然を知る → 自然の大切さに気付く(行動する人になる)。

## 2. 自然を大切にしたいあなたの思い

思いを整理してみましょう!

**「思い」**がなければ企画はできません

3

## 自然を大切にするために私は

そのわけは、  
を伝えたい

です

4

自然を大切にするために私は

「自然に”ありがとう”の  
気持ちを持とう!」

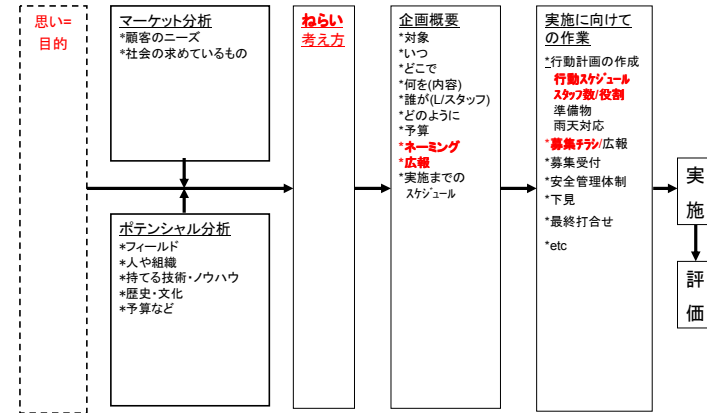
そのわけは、  
「人は自然があるから生きていける  
水、空気、食べ物、住い、着るもの...  
そんなものをくれる自然に感謝!!」です

を伝えたい

なまえ:

5

### 3. 企画のプロセスと要素



6

#### ① ねらいとは?

- 活動のねらいや特徴を分かりやすい言葉で表現したもの

例:\* 森林体験を通じて森に親しみを持ってもらい その大切さに気づいてもらう

- \* 自然の中で手作りしたピザを味わい  
ネイチャーガイドで園地の自然にふれて、  
生きものの不思議や面白さを伝える。

7

イベント名	ねらい
花を楽しむハイキング	4月頃から咲き始める多くの高山植物を愛でながら、ゆっくりと歩いて金剛山の豊かな自然を感じてもらう。
ナイトハイク&星空観察	夜の森を歩きながら五感を使って夜の自然を体験。夜行性動物や昆虫の活動、また星空の動きを観察することで、地球及びその自然とそこに生きる人間や生物の関わりを伝える。
フィールドサインってなんだろう?	フィールドサインについて、知って、作って、観察をする。普段はなかなか見る事が難しい、森の動物の活動について身近に感じ、冬の山の楽しみを提供する。
初登り&豚汁(かまど炊きごはん付き)	雪の金剛山をハイキングしながら、流水をはじめ冬の金剛山の自然を紹介し、冬ならではの自然の楽しさ・心地よさを感じてもらうとともに、自然の大切さを伝える。最後にはや園地での豚汁で体を温めて、心身ともに自然を満喫してもらう。
My竹トンボ・Myバッタを作ろう!	竹を使ったクラフトを作る事で自然素材の良さや手作りする楽しさを伝える
マイ「竹とんぼ」作り	クラフトに使う自然素材を通して、自然への興味を促すと共に、クラフトの魅力を伝える。
紅葉ハイキング	紅葉の森を散策しながら金剛山〜ちはや園地までのハイキング。金剛山の自然を解説しながら、森の中を歩くことの楽しさ・心地よさを感じてもらうとともに、自然の大切さを伝える。
パン作り&ガイドウォーク	パン作りをすることで、参加者に小麦と食生活のつながりを再確認してもらい、そこから自然と食のつながりを伝える。また、ガイドウォークにより、ちはやの自然を体験させる。
石窯ピザ作り&ガイドウォーク	自然豊かなちはや園地で石窯を使ったピザ作りを体験する。金剛山のおいしい空気や景色とともに自然の恵みを味わう。この体験を通して、自然の中で味わうスローフードの良さと、アウトドアアクッキングの良さを感じてもらおう。また普段意識せず食べているピザも生地の発酵には微生物の力を利用している事や、発酵時間を利用したガイドウォークで身近な自然の作用を伝える。

## ② ネーミング

- 人を引き付ける催しタイトル

例：「ナイトハイク ムササビ & 星空観察」

「神秘的な夜の冒険登山」

「竹を使って水鉄砲をつくろう!」

- キャッチコピー：参加したくなるような呼び込みの言葉

夜の金剛山を歩いてみよう！  
暗闇の中に何かが見える...  
そして、満天の星空も...  
さあ、みんなで夜の森を楽しもう

夕暮れから夜の生駒を歩こう！  
大阪平野の夕暮れ、そして夜景、  
PLの花火も楽しめます。

9

## ③ 広報

- 催し参加募集の手段

例：募集チラシを作って配る  
園地、公共施設....

新聞、府政だよりなど

ミニコミ誌

WEBに載せるなど

10

## ④ 募集チラシ

- 一目で見てわかる催し概要

例：別紙参照

「ナイトハイク」

「みずてっぽうを作ろう」

「神秘的な夜の冒険登山」

11

## ⑤ 行動スケジュール

- 催しを時間と行動で分かるようにした具体計画

例：ハイキングの時

9:00 YYY駅前集合 ご挨拶・諸注意

9:30 グループに分かれて出発

12:00 ZZ 着 昼食・休憩

13:00～ WWの自然観察会

14:00～下山開始

15:00 UU駅到着 ご挨拶後解散

スタッフ、参加者にとって無理のない内容と  
スケジュールであること

12

#### 4. 催し(プログラム)の流れ

- **開 会** : 参加者へのあいさつ / 自己紹介
- **導 入** : どんなことをするのかルール説明(目的の共有)  
安全や諸注意事項
- **本体(Activity)**: 自然の催し全般 (ハイキング、クラフト、自然観察、野外料理...)  
\* 催しの順序だてや盛り上げを工夫する
- **ふりかえり** : 催し(体験)を通じての気付きや感想  
参加者同士の学びの紹介
- **まとめ** : 参加者に伝えたいこと : 「自然の大切さ」への思いなど  
(伝えたいこと) (自然と自然のつながり、自然の役立ち、人と自然の関係....)
- **主催者としてのふり返し**: 評価、反省、気づき、次回への方向づけ....

本番の流れを頭に描いておくことが大切

13

#### 5. 役割分担

- **イベントリーダー**  
\* 催しを総括するプロデューサー/企画書・計画書のまとめ/調整
- **サブリーダー**  
\* リーダーを補佐し、時にはリーダーの代行をする
- **スタッフ**  
\* プログラムに従って、それぞれの役割を果たす
- **安全管理担当**  
\* お客さんやスタッフの安全管理と安全についてまとめ役
- **その他**  
\* 催しに応じて必要な役割分担を行う

リーダーの役割が大ですが全員の協力がなければ成功しません

14